潜在を顕在化する
奇跡のツール 「StiLL」

第2回
「StiLL事例研究フォーラム」
2009/4/28

株式会社アイエルアイ総合研究所

■□ 「事例研究フォーラム」プログラム □■

■ はじめに　　13:30～

第一部　【事例紹介】

■システム事例紹介 I　～ 13:35 ― 14:35 ～　P 2～16
--- システム名：　「Pipeline集計システム」・「訪問 レポート入力システム」 ---
①「Pipeline集計システム」・「訪問レポート入力システム」概要紹介
②作成プロセスとその評価について

～休憩（15分）～

■システム事例紹介 II　～ 14:50 ― 15:25 ～　P17～23
--- システム名：　「ホットライン」・・・「StiLL」パートナービジネス推進支援ポータルシステム---
①システム概要紹介
②作成プロセスとその効果について

～休憩（10分）～

第二部　【「StiLL-X」v1.0 ご説明】　～ 15:35 ― 16:35 ～　（別紙）

■「StiLL-X」新機能のご紹介
主な新機能・追加点・変更点等のご紹介

■ Q&A　～ 16:35 ― 16:45 ～

■ おわりに　～ 16:45 ― 17:00　P24～28

～フォーラム終了～

◆ システム事例紹介Ⅰ◆

2009/4/28

システム名　Pipeline集計システム

会社名　IT tool **開発販売企業（株）**
業種　**開発ツール販売**
所在地　**東京都渋谷区**

■システム概要-1

＜導入背景と狙い＞

首都圏営業マン6名の案件管理のミーティングが毎週月曜日の朝実施され、各営業マンから全てのExcelデータが集まるのが日曜日の夜になり、そこから2時間程かけないと終わらない作業が、毎週苦痛だった。かねてから、もう少し楽にならないかと考えていた。特にExcel自動化ツールを探していた。

＜導入の経緯＞

２００４年頃から、いろいろと情報収集を始め、ほぼ毎月参加している「IT経営改革研究会」で２００６年４月２６日に、第一発表で「StiLL」と出合っていたが、その時はピンとこなかった。3年後の２００７年の１０月の展示会で、パートナーの支援で説明員として参加していた最終日に他社の展示を見に行った時、ILIの「Excelでどこまでできるか！！」の内藤社長のセミナーを見て、このツールが使えるのではと思い、すぐに、体験セミナーに参加して、体験版を使用してPipeline集計システムを検討。しかし「StiLL」の奥が深く、簡単には使えないと判断し、購入前に上司（弊社社長）を説得し、有償セミナーに参加した。その後、体験版の使用期限内にPipeline集計システムの原型を作成し、１２月初旬に、開発版と共有版（5本）を購入した。

■システム概要-2

＜システムの概要＞

首都圏営業マンから毎週メールで送られてくる、PipelineのExcelデータを、StiLLを使って自動集計をするようにした。また、日々の実績データについては、毎日日次バッチ処理で作成するCSVデータを同様に取り込むように作成した。

＜システムの特長･成果＞

毎週日曜日の夜、2時間程の作業が１０分程で終了するようになった。場合によっては、月曜日の朝にメールがくる場合もあったが、充分対応できるようになった。

＜今後の展望＞

Excel自動化ツールとしての「StiLL」の評価は、とても満足するものでした。一部、実績データ（CSV）からの取り込みでは、数値情報が文字情報と判断される部分もありました。一部は修正してもらいましたが、まだExcelでの取込と一致しない部分があり、今後の修正が望まれます。インターネットで調査し、文字情報を数値に変える方法を採用し、一部は手作業で実施しています。その後、（1）月次処理のデータ変換や、（2）四半期で8回あるPipelineの本社への提供データの作成の自動化、（3）月初処理の自動化と作成し、２００８年は自分の作業の効率化で活用できました。今後はPipeline等の入力システムの検討も進め、自分以外の人が使えるものにしたいと考えています。

■現在の基幹システムの問題点

・エンドユーザが満足するシステムとは？
　　-現行のシステムはほとんど、ユーザの視点では
　　我慢して使うシステムである！！

・システム開発に時間と費用がかかり過ぎる

・ユーザの要求仕様をうまく伝えられない

・システム変更に柔軟に対応できない

・ユーザの満足度が低い

・操作性が悪い（特にWebシステム）

■エンドユーザの要求ニーズ

・短時間で立ち上げられる事

・最少限のカスタマイズで稼働が可能である事

・専門の管理者が不要である事

・ツールの教育が容易である事

・費用が高くない事（~５０万）

・導入後1~3ヶ月で効果が判断できる事

・効果が出なければ、容易に止められる事

■解決策

・エンドユーザ（部門）が簡単に使えるツールを探す

-ユーザレベルで使える事

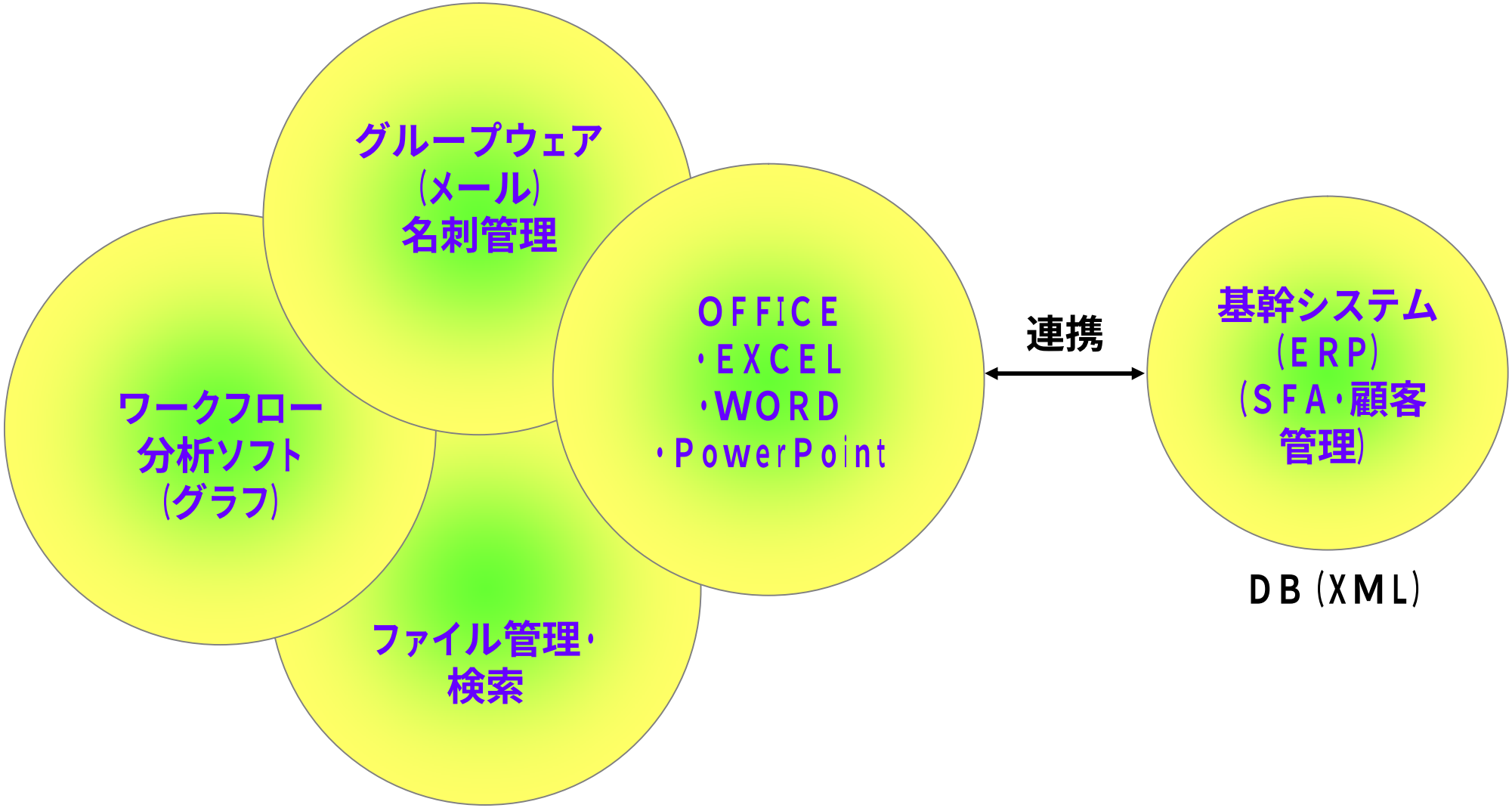
-導入や管理が簡単である事

-シンプルに必要な機能だけがある事

-導入・管理コストが安い事
・セキュリティが強化されている事
・**既存システムとうまく連携**し、互換性がある事
・・・・・

-**あるデータは有効に活用**、二重入力がないように設計

■業務切り分けの考え方


グループウェア
(メール)
名刺管理
ワークフロー
分析ソフト
(グラフ)
OFFICE
・EXCEL
・WORD
・PowerPoint
ファイル管理・
検索
連携
基幹システム
(ERP)
(SFA・顧客
管理)
DB(XML)

■ユーザー事例①　「Pipeline集計システム」概要

・システム概要：Pipeline集計システム
・作成のポイント：自動集計作業を首都圏と名阪福とFCの3つに分けた。また、首都圏は担当者毎の集計も可能とした。担当者によってはファイル名に日付をつけて変えてくる人が二人いたので、それも考慮した。
・活用の効用：毎週日曜日の夜の2時間の作業が10分程でできるようになり、気持ち的にも楽になった。もちろん正確にもなった。フル自動ではないが、チェックポイントが明確になり、本来の人間的な仕事に集中できるようになった。

基幹DB
Oracle→CSV

特長

1.部署毎に自動実行できるようにした。

2.首都圏は担当者毎にも実行できるようにした

■ユーザー事例①　「Pipeline集計システム」　開発ポイント

「StiLL」のシステムポイント

Excelの集計システム

様々なシステム事例：Excel・Access・DBシステムCSV、TXT、Webシステム等

Excelプラットフォーム 新開発手法
①ユーザーの作成したExcelシートを元に
②動く要件定義書によるスパイラル型設計・開発

表現力豊かなシステムデザイン

①豊富なExcelコンテンツ
②様々な業務に合った「StiLL」コマンド

システム稼動後の改善（修正・追加）がスムーズ
①修正・追加依頼可
②データベースのデータ活用自由自在!!

システムポイント実施内容

日々出力される実績のCSVを取り込む。

毎日夜間バッチ（21：00～22：00）で実施される、実績CSVを取込むようにした。今までは、営業マンが手で入力していた。

今まで、使っていたExcelファイルを修正して自動化ボタンを作成した。

自分が使うので、スパイラル型の開発が可能となった。

自分が使うので、あまりデザインにこっていない。

自分以外の者が、使う場合はわかり易さなど考える必要があります。

思っていたより、修正が容易でした。

毎週の作業は楽になったのですが、売上実績の更新や得意先マスタ更新、年間処理等どこまで実施するかが課題となります。

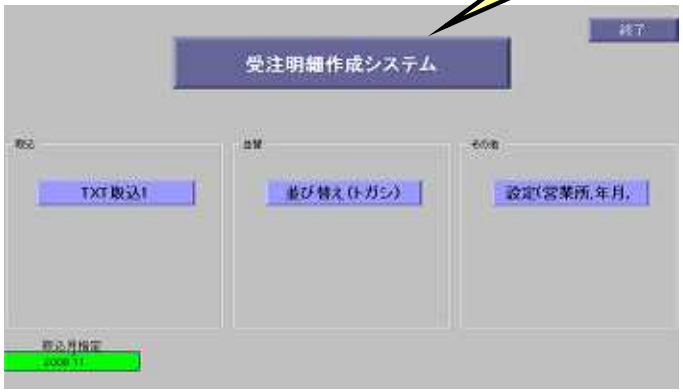
■ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝｾﾝﾀｰの業務効率化支援システム　その他概要

②月次処理のデータ変換

■概要　毎月月初に基幹システムから前月の実績CSVデータが出力される。このデータを自分が使えるように容易に加工する。

・このデータは、自分が使うには、項目が多いし、不足部分もあり、加工に毎月1時間程かかっていた。このデータは分析ソフトで使うデータとなります。

毎月1時間の作業が10分で終わるようになった。



③月初処理の自動化

■概要　毎月月初に②と同様にCSVデータから加工して他社製品実績を集計し、報告用のデータを作成していた。

毎月1時間程の作業が10分で終わるようになった。

④サンプルソフト作成

■概要　大口事業社向け郵便番号名簿（21，203件のCSVデータを取込、自由に加工する）列のソートを利用した。

■ユーザー事例②　「訪問レポート入力システム」概要

・システム概要：**訪問レポート入力システム**
・作成のポイント：1月末に営業責任者から、訪問レポート入力システムの作成を依頼された。2月3日に内藤社長を訪問して、「StiLL-X」の新機能を説明してもらった。ちょうどその時に訪問レポート入力システムの原型を見せて、開発予定があることを説明した。すると、内藤社長の好意でその場でβ版の提供を受けた。そこから開発に着手して土日に4～5時間で初期版が完成した。
共有ライセンスが5ライセンスしかなかったので、営業マン全員に配布できず、StiLL版とExcel版を作成した。

原型

Excel版

■ユーザー事例②　「訪問レポート入力システム」概要

運用の段階で営業責任者から、日々項目の追加や入力のみでなく、営業の責任者が担当営業マン毎に先週の訪問レポートを確認したいと言われ、検索機能も追加した。
また、共有ライセンス１１ライセンス追加を購入し、β版の共有版を提供してもらい、2月中旬から、本稼動となった。

・活用の効用：営業マンが誰でも入力できるようにしたが、得意先コードでの入力はカナ検索等を考慮する必要がありそうです。

■ユーザ登録　データクリーニング事例　概要

②ユーザ登録データクリーニング

■概要

旧バージョンで止まっているユーザをV10へマイグレーションする為の情報収集

(1) ユーザ登録情報を表示させ

(2) 担当者に電話連絡し、ヒアリングする

(3) ヒアリングした内容を入力する

■作成プロセスとその評価「Pipeline集計システム」

【システム企画】
・作成方法、プロセス・・・各営業マンが持っている案件毎の情報を集め、今の実績管理と、各Qの見込み案件管理をより正確に判断する。最終的に首都圏は担当者毎、全体は営業所毎にグラフにて表示する。

【要件定義】
・既存のPipelineのExcelフォーマットを利用し、毎週月曜日の首都圏の会議に合わせて集計する

【開発期間、コスト・技術】
・体験版での開発からスタートし半月ぐらいで、時間は30時間ぐらいで、複数のExcelファイルの扱いや繰返し実行等の理解に時間がかかった。

【検証、テスト稼動】
・CSVの取り込みがExcelと同様にならないために、多少時間がかかった。FCの実績をRCにて入力するようになり、RCシステムからCSV出力ができるようにした。

【本稼働】
・2007年12月初旬から本稼動し、気持ち的にかなり楽になった。

【追加、修正】
・自分で使う為に、どこまで自動化するかがポイントだった。

【継続性】
・自分以外の人が担当する事も考慮して、誰でも使えるようにする必要があります。

■作成プロセスとその評価「訪問レポート入力システム」

【システム企画】
・作成方法・・・入力フォームはExcelとして「StiLL-X」の新機能を活用する
　カード型の入力→Line型保存、管理者の検索は、Line型→カード型表示

【要件定義】
・画面は一つで、入力と表示機能を検討した。

【開発期間、コスト・技術】
・土日の休みに4～5時間で初期版を完成し、トータルでは20時間程かかっていると思います。

【検証、テスト稼動】
・入力システムの為に充分な検証・テスト稼動は必要としなかった。

【本稼働】
・2月中旬から「StiLL-X」β版で本稼動、運用しながら微調整している。

【追加、修正】
・項目の追加（お客様の評価、アクション、プレゼン・・・）を実施、また、①管理者向けの検索システム
　②Excelファイルの入れ替え機能（プログラムの修正や得意先マスタ修正等）③訪問件数
　集計機能等を追加してきた。

【継続性】
・将来的には、SalesForce.comとの連携を実現したい。
「訪問レポートシステム」での入力を最小限にしたい。

■総合評価

【StiLLについて】

- 自動化ツールとしての評価は、充分満足のいくものです。
- 自動化ツール、アプリケーション開発ツール、（業務フロー作成ツール）等の可能性を持ったものと理解しており、使用者のレベルに合った使い方ができると思います。
- また、今回の「StiLL-X」の新機能は、エンドユーザから見てもとても、使い易くなったと思います。レコード取得・レコード更新・レコード削除・レコード複合取得は、「訪問レポート入力システム」の作成では、かなりの工数削減が出来たと思います。また、マスタ保守機能も同様に容易になります。

【Excel比較】

- Excelで出来ない事が「StiLL」でできる。
  （1）シートを非表示にしていても、コピーができる。（自動でマスタの入替えができる。）
- 手作業をそのまま、連続で実行しても、同様に動かない事がある。

【ＭＳＪでの活用方法】

- ２００８年はオペレションセンターの効率化として、利用してきた。
- ２００９年は、「訪問レポート入力システム」として、全営業マン（１３名）に配布した。第２段階となった。

【課題と今後の問題点】

- 現在は基幹システムから出力されるCSVデータを取り込んでいるが、一部、数値データが文字として扱われる。また、今後Oracleから直接取込を実施するかも、システム管理者と相談をしたい。
- Excelを入力フォーマットにすると、個人が自由に変更できてしまうという問題があったが、StiLLを使う事で解決しそうだ。ただ、個人がそのデータを加工する場合、全てのメニュー制御すると何もできない。
- プログラムの変更やマスタの入替えなど、いろいろと工夫をする必要がある。（配布方法等・・・）

◆ システム事例紹介 II ◆

システム名　「ホットライン」・・・「StiLL」パートナービジネス推進支援ポータルシステム

会社名　株式会社アイエルアイ総合研究所
業種　ソフトウェア開発･販売業
所在地　東京都渋谷区恵比寿

■システム概要

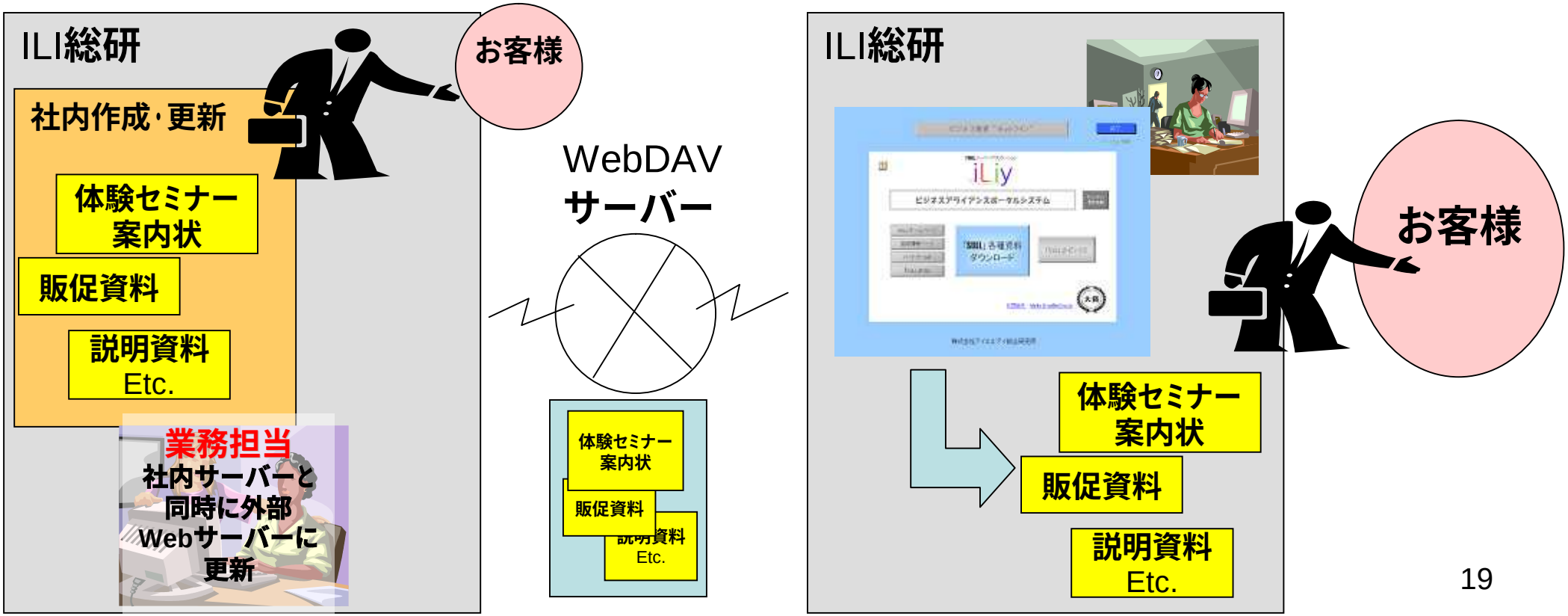
＜導入背景と狙い＞
株式会社アイエルアイ総合研究所は少人数の会社で、拠点は東京のみとなります。「StiLL」を活用した受託開発ビジネスを推進しているパートナーは全国60社になります。パートナーは「StiLL」を活用したシステムの受託開発や、自身の社内システムもこれで開発されています。パートナーは全国に点在、東京の拠点からそのサポートをしています。
「StiLL」は汎用開発ツールのためテンプレートやコンテンツがたくさんあります。リーフレット、販促資料、ライセンス資料等もそれに準じ種類、変更等も多く、パートナーご担当に把握していただくタイミング･精度は限りある対応にしかならない状況でした。

そこでILI社内で活用しているカタログ･リーフレット最新販促資料及びその活用方法等を同期をとって伝達、資料提供(パートナー自身でダウンロード)をタイミングよく確実に伝達･共有するための方法をいろいろ検討いたしました。

■システム概要　「StiLL」パートナービジネス推進支援ポータルシステム

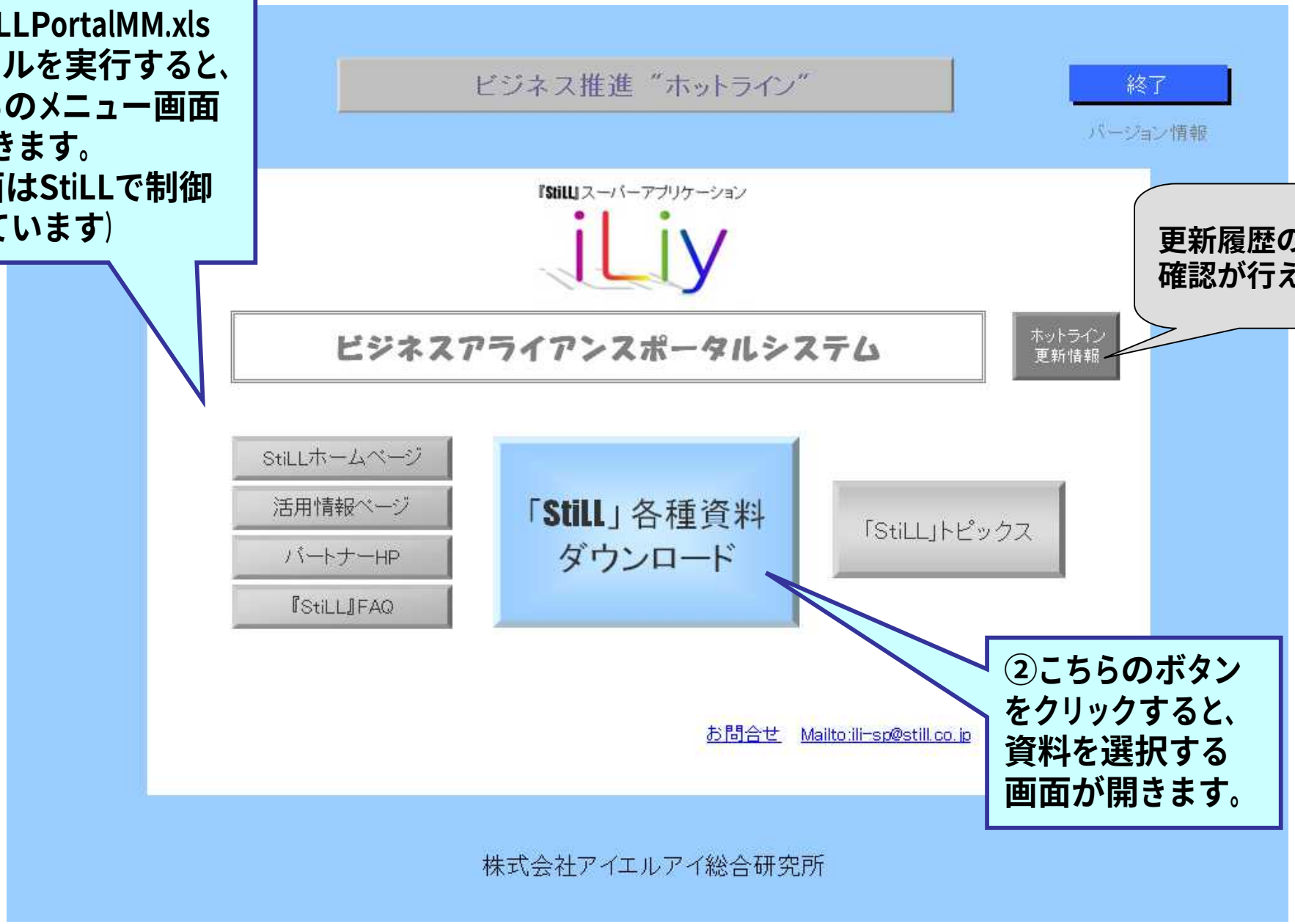
＜導入の経緯＞
当時ちょうど「StiLL」v8.0が完成しました。その時の「StiLL」の新機能 Webシステム構築機能が完成、さっそくそれで開発、2007年9月に「ホットライン」システムが完成・本稼働、改善をしてきました。直販活動をするパートナーの方が必要と思われる資料の原本を決めExcel資料は「StiLL」でプログラム化、PPT、PDF、WORDで共有する事としました。

＜システムの概要＞
セミナー案内状、販促資料、技術資料等社内で作成しているものを同時にサーバーにアップ、それをパートナーの担当の方がダウンロードして活用するシステムです。



■システム図 1- メニュー画面

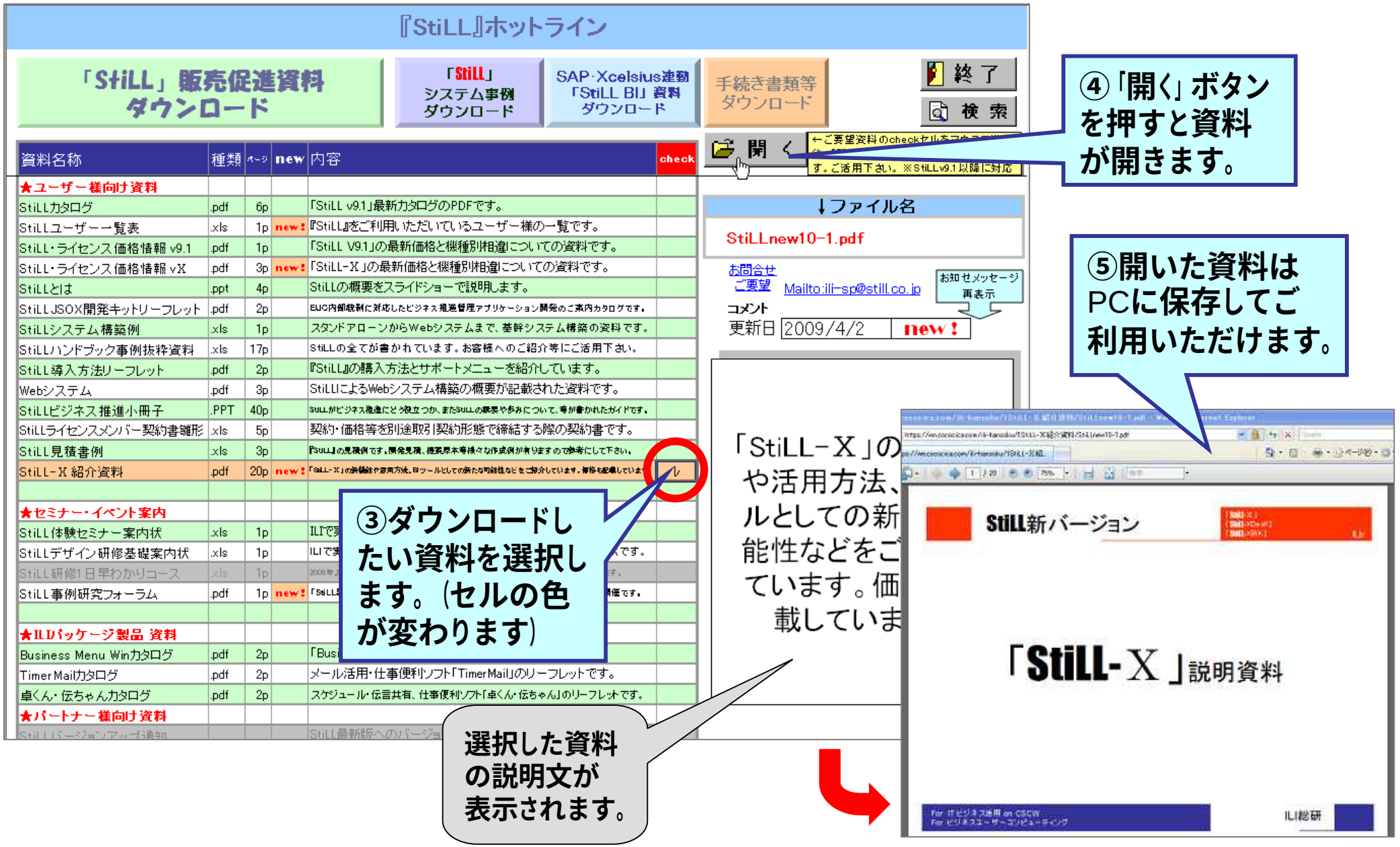
①StiLLPortalMM.xlsファイルを実行すると、こちらのメニュー画面が開きます。
（画面はStiLLで制御されています）



更新履歴の確認が行えます

②こちらのボタンをクリックすると、資料を選択する画面が開きます。

■システム図 2- 資料選択画面



■システム概要

＜システムの特長･成果＞

特長

①社内で作成している様々な資料の作成し社内共有サーバーに保存、同時に外部Webサーバーに保存 同期をとった共有エクストラネットの実現。

②Excel、PDF、PPTとファイルの種類は様々なもので仕組みが完成、htmlにいちいちする必要がない

③Excelでテンプレートを作成するとすべて全自動でok！

成果

①社内作成資料が綿密になり、常に対外部を意識して作成するようになる。
→業務の実のある活動になり、スピードアップが図れた。

②パートナーの担当の方が情報を手に入れやすいとの評価があった。

③課題 まだ活用が安定していない。

1.**作成･修正したときのMail発信。**
2.**パートナー問合せ、依頼Mail検討したい。**
3.**もっと利用する方を増やしたい。**

＜今後の展望＞

･いつかパッケージになるかもしれない。

■作成プロセスとその評価

【システム企画】
・「StiLL」をビジネス推進として活用していただくため「StiLL」ビジネスプロセスシステムの企画
・システムの是非・・・継続

【要件定義】
・企画担当者がメニュー&操作画面作成
・シート上に条件や注意事項を打合せしながら作成・・・・開発担当に伝達。

【開発期間、コスト・技術】
・5日でプロト作成 → 打合せ仕様固め →さらにプロト作成 →打合せ仕様固めテスト
延べ20日位で開発完了
・企画担当者は業務精通、決定権あり。開発担当者はStiLLエキスパート

【検証、テスト稼動】
・テスト環境で約5日テスト稼動を行いました。
・当初状況を10日間（毎日）確認しました。

【本稼働】
・そして問題が無かったので本稼働、現在まで利用しています。

【追加、修正】
・操作性の細かい点など2,3点修正より使いやすいインターフェイスを実現しました。
・ダウンロードできる資料を更に増やしました。

【継続性】
・定期的にアップする資料があるので常にシステムをウォッチしています。

■ユーザー事例　「StiLL」パートナービジネス推進支援ポータルシステム開発ポイント

「StiLL」のシステムポイント

Excelのシステム～Web システムまで

様々なシステム事例：Excel・Access・DBシステムCSV、TXT、Webシステム等

Excelプラットフォーム 新開発手法
①ユーザーの作成したExcelシートを元に
②動く要件定義書によるスパイラル型設計・開発

表現力豊かなシステムデザイン
①豊富なExcelコンテンツ
②様々な業務に合った「StiLL」コマンド

システム稼動後の改善（修正・追加）がスムーズ
①修正・追加依頼可
②データベースのデータ活用自由自在!!

システムポイント実施内容

StiLL DevelopersとWebDAVサーバー を活用
①Excelのリストをデータベースとしました。
②サーバーに保存の仕組みを自動化しました。

Excelと「StiLL」で設定、保存、保護プログラム作成。
①設定をシステム化し汎用的にしました。
②実務を実施しながら作成しました。

新しい情報等 new! の表現等しました。
①新しい情報は1ヶ月間はnew!を表現しました。
②セルを選択したときセルの色が変化、チェックが入る
　イベントもプログラムしました。

機能追加に対応しやすいプログラム作り。
①ブックを追加すればダウンロード資料を増やすことが可能。
②ホームページ等何でも開くことが可能でパートナーの担当に
　プロセスを伝達が可能です。

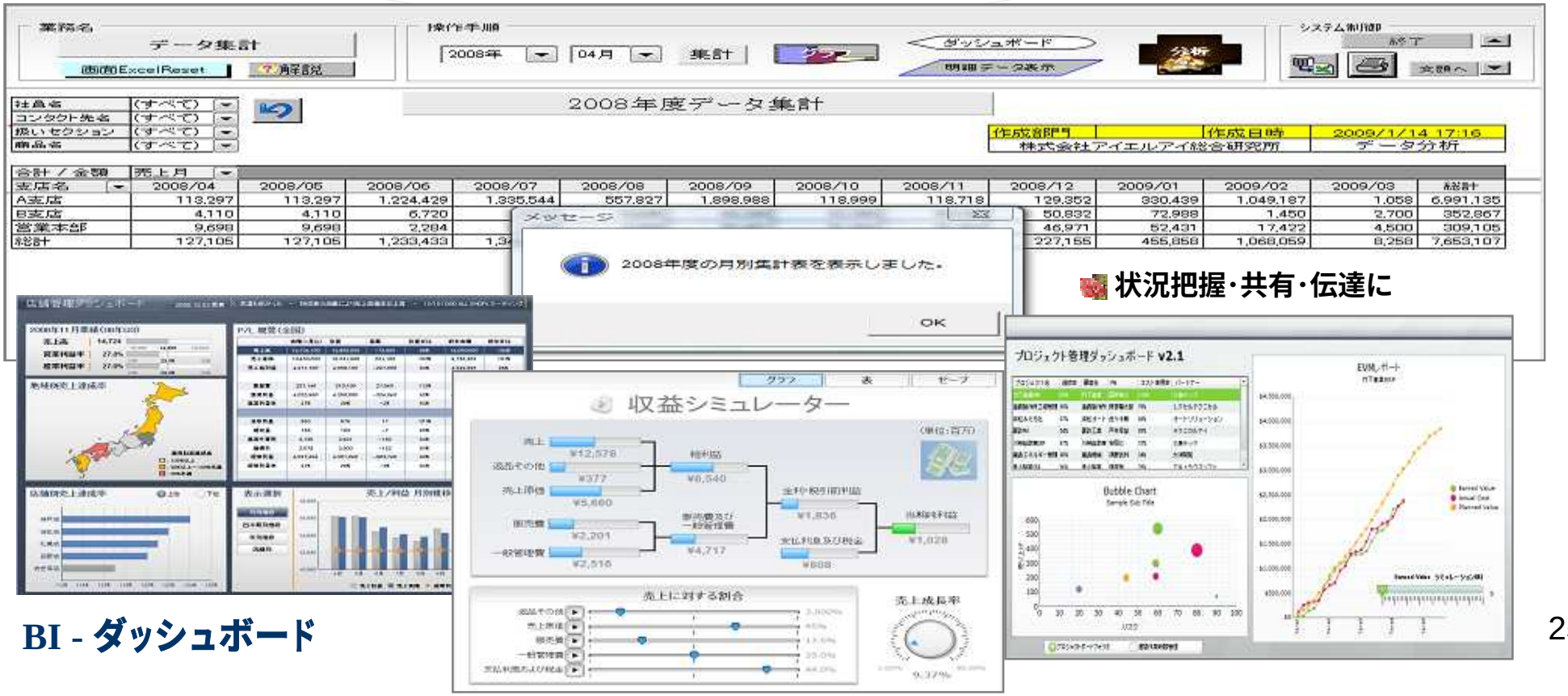
「StiLL」とその連携製品のご紹介　Xcelsiusと連携 したBI ツール

Excelプラットフォーム　エンドユーザーBI 自由自在!!

部門 BI システムツール「StiLL & Xcelsius」

■調査･分析･ソリューション

Excelと「StiLL」のOLAP機能と
「StiLL」の分析、開発系プログラム
言語不要のプログラム機能を利用



■状況把握･共有･伝達に

BI - ダッシュボード

SAPとILI協業について

- 協業体制
  - アイエルアイ総合研究所
    - マーケティング、販売、サポート、技術検証（主にStiLL側）
  - SAPジャパン
    - マーケティング、技術検証（主にXcelsius側）、コンテンツ

- 製品
  - StiLL への Xcelsius バンドル
  - 既存StiLLにBIダッシュボード機能を付加
  - StiLLによってエクセルシートに集約されたデータをもとに、Excel上にてデータ分析と可視化を行う

上記BI 製品を取り扱いについて

・**すでに「StiLL」のパートナー企業様は** Xcelsius**をご購入いただきます。**
Xcelsius Engage X1+ Xcelsius Batch Utility X1 **より**
デモ価格別途お問合せください。

・**パートナー契約等は別途お問合せください。**

■「StiLL」コンテンツ ご紹介 -1

StiLL オプション プログラム

■STSETODBC： ODBC名ソース名設定プログラム Professional 以上に同梱　無料

■StiLLマネージャー： StiLLのインストール制御　すべてのStiLLに同梱　無料

■StiLLスタート： StiLLアプリとExcelを分離独立制御プログラム　¥15,000/1部門(消費税別途)
※Developers版のみ同梱。

■StiLL Loader： SBC環境設定プログラム　¥300,000/1サーバー(消費税別途)

■StiLL Timer： タイマーによるプログラム起動　¥100,000/1システム

■StiLL Mail： 送信用メールソフト　¥100,000/1システム

StiLLの デモサイト

下記URLよりご覧ください。
http://www.still.co.jp/whatstill.html

StiLL 小冊子 ガイド

下記URLよりダウンロードしてご利用下さい。
https://wn.cococica.com/ili-presentation/SmallBookStiLL02.pdf

サーバー型システム開発(C/S、Webサーバー)

概要

① Excel+「StiLL」+ DB + SBCの技術で
業務Webアプリケーション開発。

② スパイラル型プログラム開発

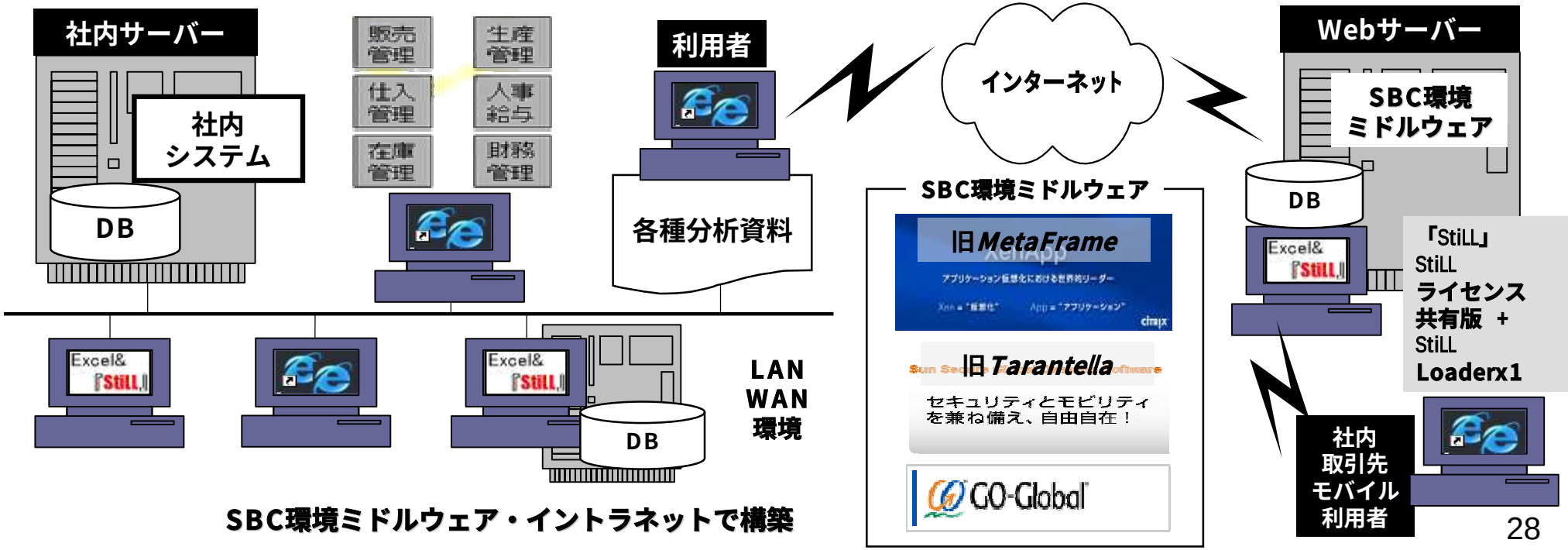
③ C/S、Webサーバーへアクセス
様々なアプリケーション・データと
フルアクセスシステム構築。

特長

① 短期間・低コスト・メンテナンス性のよい
システム開発となります。

② 誰でも（Excel＋α）レベルの知識、
技術でプログラム作成が可能です。
※DB構造、『StiLL』の勉強は必要です。

③ ほとんどのパッケージシステムとデータベースを
ＯＤＢＣ接続、またはExcel、ＣＳＶで連携可。



SBC環境ミドルウェア・イントラネットで構築

■「StiLL」コンテンツ ご紹介 -2

StiLL
保守契約
ライセンスメンバー契約

--- StiLL Professional **ライセンス保守契約 内容** ---
「年間お問合せ」と「バージョンアップ」込みで
¥35,000.-/年 (消費税別途)

※詳しいライセンス価格は下記をご覧下さい。
http://www.still.co.jp/main/still/license.html

事例研究
フォーラム

下記URLよりご確認ください。
http://www.still.co.jp/forum.html

StiLL
デザイン
研修

下記URLよりご確認ください。
http://www.still.co.jp/event/koushuukai.html

■おわりに

- **予定**

  「StiLL-X」　4月新発売

  4月 SAPジャパンとのアライアンス契約スタート

  6月 次回事例研究フォーラムは

  サンケイビル31F Atlantic(SAP社内)で実施します。

- **これからのアライアンス推進**

  SIベンダーSIerとのアライアンス

  ERPとのアライアンス

  基幹パッケージシステムとの連携

  SBC環境プログラムと連携　ETC.

「StiLL」との上手なお付合いを

今後ともよろしくお願い致します。

ご参考資料

Excel2007を考慮したプログラム開発について

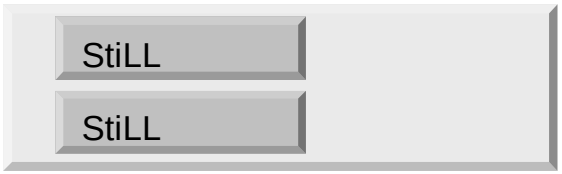
◆ Excel2007を考慮したプログラム開発について ◆

現象と対応方法

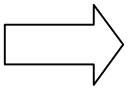
■オブジェクトの位置関係

・Excel2007ではオブジェクトのシステム表示の順番が変わっています。
Excelの「フォーム」ツールバーのボタンは 特殊ボタンとして取り扱われ常に最前部に表示されます。

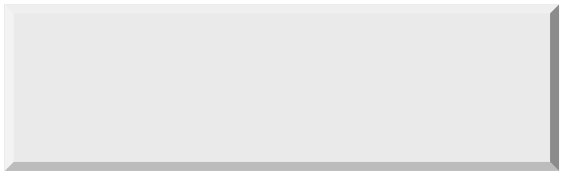
Excel2003



ボタンテンプレートの「開発用」->「コマンドボタン」を土台にして、「図形」->「ボタン」を重ねたような場合



Excel2007



Excel2007では上下が逆になる

→「フォーム」オブジェクトの表示順位を常に最前面として開発する必要があります。

■フォントの見え方の違い

・Excel2003で作成したものをExcel2007で開いたときに
オブジェクトやセルのフォントの仕様の影響、扱いの仕様の影響で微妙にずれたりします。

→Excel2003,Excel2007の両方で開いてみて、ずれる部分の調整をする。

◆ Excel2007を考慮したプログラム開発について ◆

■ワードアート

・Excel2003で「ワードアート」を使用したファイルを作成した場合
Excel2007で開き、互換モードで保存すると「ワードアート」が「テキストボックス」
に変わってしまう。

→Excel2003では「ワードアート」を使用しないようにする。

■全画面表示

・Excel2007で「全画面表示」をした場合、下から数ミリがきれてしまう。

→対応方法なし

■ツールバー

・Excel2007では、ツールバーがリボンに変わりました。
StiLLの「ツールバー」の設定はExcel2007で機能しません。

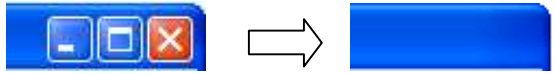
→リボンを非表示にしたい場合は、「一括画面制御」ボタンの中の
「メニューバー種類」表示しないを選んでください。

◆ Excel2007を考慮したプログラム開発について ◆

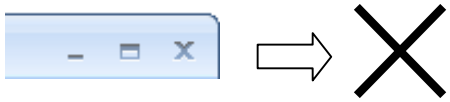
■システムボタン

・Excel2007では、システムボタンのカスタマイズが不可能となりました。
「システムボタン」の設定はExcel2007で機能しません。

Excel2003



Excel2007



→全画面表示にしてシステムボタンが表示されないようにしてください。

■Excel2007の互換モードとExcel2003のファイル形式

・Excel2007の互換モードはExcel2003のファイルと同じ形式ではない
Excel2003で作成したものをExcel2007の互換モードで開き、
それを上書きして、またExcel2003で開いて上書きする等のいったりきたりをする
とファイルがおかしくなる。

→常にExcel2003で作成　Excel2007で上書きしないようにする。